

2021年09月01日 3面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#)  [印刷](#) 

日本道路／グループ環境ビジョン策定／50年までにCO₂排出ゼロへ

日本道路はグループ環境ビジョン「Nichido Blue&Green Vision 2050」を策定した。地球温暖化や資源循環、生物多様性などで長期目標を設定。化石燃料を使わない製造技術の開発や消費電力の再生可能エネルギー化などを通じ、50年に二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロにする。

環境ビジョンに合わせ▽カーボンニュートラルの実現▽循環型社会の形成▽生物多様性への配慮－を柱とする行動指針を定めた。

脱炭素では建設事業と製造・販売事業で使う重機、車両の電動化を推進。35年までに全乗用車を電気自動車（EV）などのゼロエミッションビークルに転換する。アスファルト合材の製造では、50年までに化石燃料を使用しない製造技術を開発する。

事業活動で消費する電力は40年までに100%再エネ転換する。全事業活動のCO₂排出量を13年度比で30年に50%、40年は70%削減し、50年の実質ゼロを目指す。

循環型社会の形成では35年までに再資源化率100%を目標に設定。分別収集を徹底し、35年までに建設混合廃棄物の排出率を0・1%以下、最終処分量ゼロの達成を目指す。生物多様性は各事業で取り組むべき行動を明確化。環境マネジメントシステムの評価項目に組み込み実効性を高める。地域社会と連携した植林活動や生態系保全活動も積極展開する。

記事ID：3202109010309

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます